

小規模事業者持続化補助金を活用して (東かがわ市商工会)

「現代に生き続けるジャパニーズ刃! 展示会出展による販路開拓の取組み」

会社説明

当社は、1967年12月に手袋の町として有名な東かがわ市で創業して以来、日本古来の伝統技術である鍛造製法を用いた火造り鍛造抜型を国内で唯一製造し、国内企業に販売しています。当初は、手袋製造に使用される皮革・繊維を打ち抜く刃物を製造していましたが、1980年代後半以降、海外への工場移転が進み、需要が減少してきたことから、他の製造業への販路拡大に積極的に取り組み、今ではゴム・プラスチック・フィルム・紙・CFRP・スーパー繊維等、様々な業界のお客様からご注文を頂いております。

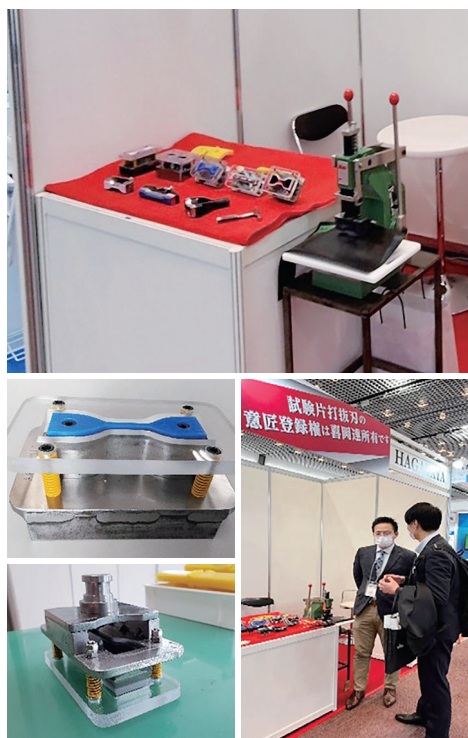
事業課題

他にはない寸法精度や切れ味、耐久力などを持つ刃物・試験片抜き刃を製造できる高い技術力を有する当社ではありますが、製造業務には社長と専務(後継者)及び社員の計4名で従事する一方、営業は自社製品の説明を面前対応に限定して社長と専務だけが行うことになっており、営業先が遠隔地であることも多く、人手不足感は否めません。

また、刃物製造に関する特許を複数取得するなど、世界で当社だけが有している数多くの優れた技術を効率よく発信したいとの思いも強く、東かがわ市商工会に相談しました。

小規模事業者持続化補助金の活用

相談の結果、各企業の研究部門や大学・商社等、当社のター



ゲット層の集客が見込める「JASIS関西2023」へ出展し、当社の商品や技術力を発信することにしました。今までアプローチできていなかった関西圏の企業様に対し、効率的にPRすることができ、一定の成果が得られたと感じています。展示会費用についても補助金を活用することで自己負担を抑えられ、低コスト高リターンの取組みができたと思っています。

今後の展開

今回の展示会で新規取引の打診や代理店契約の希望を頂いた企業様については、今後も継続してアプローチしていきたいと思っています。また、直近では、新規設備を導入し、今まで対応できず受注を断念していた案件も対応できるような体制を整えました。今後も時代のニーズをとらえ、世界に通用する匠技を提供していきたいと思っています。



東かがわ市商工会
経営指導員 森川 晃平

社長は、とにかくバイタリテイ溢れる方で、お話しするだけでこちらもエネルギーをもらえます。本会工業振興委員会の地元企業見学会の受入れもご快諾いただき、工場見学やハガタ屋様の経営について勉強させていただくことができました。

現在はご子息である専務も経営に携わり、将来的には事業を承継されるご予定とのことです。今後は補助金活用等の提案をはじめ、様々な面でお役に立てるよう伴走支援を続けていきたいと思っています。

店舗情報

株式会社ハガタ屋

住所 東かがわ市松原 1780-6
営業時間 8:00 ~ 17:00
定休日 土曜日、日曜日、祝日
電話 0879-25-3121
ホームページ <http://www.hagataya.co.jp/>

